

平成27(2015)年11月

保護者の皆様

豊能町立吉川小学校

校長 田和 嘉仁

全国学力・学習状況調査の結果および今後のとりくみについて

木々の葉が色づき、秋本番という季節になりました。保護者の皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育推進にご支援ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて本年4月21日(火)に6年生が実施しました「平成27年度全国学力・学習状況調査」の本校の実態や課題を分析いたしました。その結果と今後に向けてのとりくみを以下にお知らせします。

なお、豊能町の結果概要と分析、今後のとりくみ等につきましては、11月の下旬に本町ホームページ(HP)に公開される予定ですのでご覧ください。

記

【全体からみて】(○→プラス傾向の力 ●→さらにつけたい力)

- 国語のA問題B問題、算数のA問題B問題、理科とも、大阪府平均・全国平均を上回る(5～10ポイント)結果であった。
- 国語、算数ともどのような形の問題に対しても無解答率が低い。このことから、課題に対して積極的にとりくもうとする姿勢がうかがえる。
- 国語では、自分の考えを書いたり、目的や意図に応じて書いたりするなど、「書くこと」の領域に課題が見られた。
- 算数では、「量と測定」「数量関係」の領域に課題が見られた。

【国語の結果から】(○→プラス傾向の力 ●→さらにつけたい力)

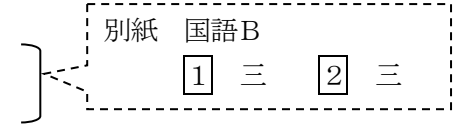
《国語A》

- 朝学習、吉小タイム、放課後学習、家庭学習等、基本的な学習の繰り返しを行っていることが、正答率の高さに表れている。
- 漢字の読み書きは、定着している。
- 文章を構成する主語を捉えたり、主語と述語の関係を捉えたりすることができる。
- 具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことができる。
- 新聞のコラムを読み、表現の工夫を捉える。
- 「引用」の意味を理解する。
- 話の内容に対する聞き方を工夫する

⇒ 授業の中で指導及び再確認をする。

《国語B》

- 普段の授業だけでなく、朝読書やうちどく、読書週間など、読書に接する機会が増えていることが、正答率の高さに表れている。
  - 新聞の割り付けをしたり、見出しをつけたりできる。
  - 文と図を関係づけて読んだり、中心となる語や文を捉えたりすることができる。文章の要旨を捉えることもできる。
  - 取材した内容を整理しながら記事を書くことができる。
  - 文と図を関係付けて、自分の考えを書くことができる。
- ⇒ 読解力の育成を図るとともに、伝えたいことが相手に分かるように書くなど、書くことに関する学習を行う。



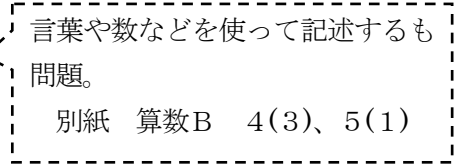
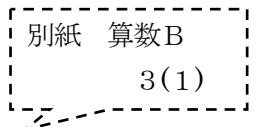
【算数の結果から】(○→プラス傾向の力 ●→さらにつけたい力)

《算数A》

- 正答率はたいへん高い。朝学習や吉小タイムなどの繰り返し学習の成果や家庭学習の定着が、大きな要因と考えられる。
  - 180°より大きい角度を測ることができる。
- ⇒ 授業の中で指導や再確認を行う。

《算数B》

- 平行四辺形の辺の特徴と作図に用いられる約束や性質が理解できている。
  - 比較量と割合から基準量を求めることができる。
  - 正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求める。
  - 概数について理解し目的に応じて用いることができる。
  - 長方形の面積を二等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する。
- ⇒ 日常生活の事象と関連付けて考える力や筋道を立てて考えたり、根拠となる事柄を過不足なく説明したりする力を育むことが重要である。



【理科の結果から】(○→プラス傾向の力 ●→さらにつけたい力)

《理科》

- 振子の運動の規則性を振り時計の調整の仕方に適用する。 ○星座や雲の動きを理解する。
- 生物の成長に必要な養分のとり方を理解する。 ○打ち水の効果についてグラフを基に考える。
- 顕微鏡の操作を身につける。 <別紙 2(4)>
- 植物の栽培場所について成長の様子と日光の当たり方を適用して記述する。 <別紙 2(5)>
- 予想を基にして実験結果を考える。 <別紙 3(2)>

- 観察した事実と情報から方位を判断する。 <別紙 4(1)>  
⇒授業の中で再確認をするとともに、筋道を立てて考える力の育成を図る。

### 【児童質問紙から】

( ○→プラス傾向の項目 ●→さらにつけたい項目 )

#### <学習や学習意欲に関わること>

- 普段の日や休みの日の勉強している時間。

##### (国語科)

- 国語の勉強は大切だし、社会に出たときに役に立つ。
- 意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫する。
- 国語の勉強が好きである。

##### (算数科)

- 算数の勉強が好きである。
- 公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。
- 授業の内容がよくわかる。
- 新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う。
- 学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。

##### (理科)

- 観察や実験が多い。
- 理科の勉強が好きである。
- 学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。

#### <家庭学習や読書に関わること>

- 家で学校の宿題をする。
- 読書が好きである。
- 学校図書館や地域の図書館を利用する。
- 家で学校の授業の予習、復習をしている。

#### <学級や学校での生活に関わること>

- 学校に行くのは楽しい。
- 学校のきまりを守っている。
- 話し合っって学級のきまりなどを決めている。
- 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。
- 友だちの話や意見を最後まで聞くことができる。
- いじめはいけないことである。

#### <自尊感情や将来に対する意識に関わること>

- ものごとを最後までやりとげて、うれしさを味わう。
- 自分にはよいところがある。

- 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する。

#### <テレビやゲームなどに関わること>

- テレビやDVDを見たり聞いたりする時間<平日> 2時間未満：60%
- 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間 持っていない60%
- テレビゲームなどゲームをする時間<平日> 2時間未満：80%

#### <地域や社会に関わること>

- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。

#### <今後のとりくみについて>

##### ① 授業改善に向けてのとりくみ

今年度は、豊能町教育委員会の研究推進校に委嘱され、授業改善にとりくんでいます。研究テーマを「学ぶ楽しさを実感させる教育の推進 ～伝え合い、響き合いながらのびていく子どもをめざして～」と設定し、テーマにせまるための“ねらい”として、①どの子もわかる授業づくり（授業スタンダード） ②一人ひとりが、主体的にとりくむ授業づくり ③言語活動（話す、聞く）に重点をおいた授業づくりの三項目を設けました。そして、全学年で研究授業を実施し、授業改善の中心である“どの子にもわかる授業づくり”をめざしています。

##### ②基礎・基本の徹底

これまでも朝学習、吉小タイム、放課後学習、毎日の家庭学習など日々の積み重ねを大切にしました。学習にとりくんできました。今後も反復練習や家庭学習の充実を保護者の皆さんと連携しながら進め、子どもたちの基礎・基本の定着を育んでいきます。また、各学期末に全学年で“力だめし”のプリントを実施することにより、今後の指導に活かしていきます。

##### ③読書活動の充実

朝の読書タイム、吉小広場での吉小サポーターによる読み聞かせ、夏休みの親子読書、昨年までの「うちどく」のとりくみなどをとおして、本に親しみ読書量を増やす活動を進めてきました。その成果が徐々にでてきています。読書は学習の源であり、生きる力を育んでいくものと考えています。今後も、家庭と連携しながら読書習慣が身につくよう、とりくみをすすめていきます。

##### ④吉小サポーターとともにつくる授業

たくさんの保護者、地域の方々が、サポーターとして登録してくださっています。地域学習「吉川学」では、サポーターの方から地域のすばらしさを子どもたちが学んでいます。また、「墨絵」「食育」「クラブ活動」「ブラッシング指導」などでもお世話になっています。今後も、「よしかわ」だからできる、「よしかわ」しかできない、「よしかわ」を誇りに思えるとりくみを進めていきます。

調査結果からは、課題も見えています。これらの課題解決に向けて教職員一同、より一層の努力を積み上げていくとともに、保護者・地域の皆さんのご協力を得て、ともに子どもたちの健やかな成長を見守り、支えていきたいと考えています。今後ともよろしくお願い致します。